

## 第4回都市交通協議会 議事概要

日時

平成23年12月22日(木) 午後15:00~

場所

刈谷市役所7階大会議室

出席者

会長及び委員 計16名 事務局 6名

議事

- (1) 都市交通戦略の策定について
- (2) 施策実施効果の検証

主な指摘事項と対応等

- (1) 都市交通戦略の策定について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
・P1の“ICカードの導入”とは具体的にどういふことか。	・将来的な公共施設連絡バスの有料化に伴うICカードの導入を想定しています。(P1に追記)
“ピーク時に集中する需要に対応した車両の導入を検討”とは連節バスをイメージしているのか。	・連節バスのみならず、その時々に応じた最適な対応を検討していきたいと考えています。
・現状の歩行者・自転車通行空間は段差が多く、バリアフリー化が進んでいない。具体的にどういった対応を図っていくのか。	・歩道の横断勾配をなくす方向でバリアフリー化の整備を進めています。自転車については、インターロッキングだと走りづらい等の指摘もあるため、固いブロックに敷設し直す等の改善策を検討しています。
・今川刈谷停車場線の自転車道は不連続であり、かつ歩道はデンソー社員で混雑しているため、車道を走行する自転車が非常に危険な状況にある。自転車走行空間の明示等による対処はできないのか。	・バイパスの整備による駅周辺の自動車の交通量の削減を図り、自転車・歩行者の安全性を確保するなどの対策も進めていますが、自転車の走行空間の改善については今後の検討課題としています。
・P1の“環境”のMM関連施策の記述において、ステージ1では“企業と行政が一体となって”、ステージ2では“企業に加え、市民レベル”でMMを推進とあるが、意識改革は時間をかけて行う必要があることから、ス	・指摘を踏まえ、ステージ1から市民レベルのMMを推進していく旨を記述します。(P1に追記)

<p>ページ 1 から市民レベルで MM を実施していく必要があるのではないか。</p>	
<p>・ P1 の “ 生活 ” において、“ 主要駅や主要バス停における交通結節機能強化 ” とあるが、具体的にどこを指しているのか。また、それぞれの基本方針においてどのような施策を実施するのかが一目で分かるよう、見出しをつけてはどうか。</p>	<p>・ 指摘を踏まえ、各基本方針において具体的な施策内容が分かる見出しをつけるとともに、交通結節機能強化等の各施策の具体的な対象路線、対象拠点を明記します。( P1 に追記 )</p>
<p>・ “ 環境 ” の基本方針が “ エコモビリティライフ・ビジネスの実現 ” となっており、以前の会議で決定した “ 企業と行政が一体となったエコモビリティライフの実現 ” に更新されていない。</p>	<p>・ 指摘の通り、“ 企業と行政が一体となったエコモビリティライフの実現 ” に修正します。</p>

( 2 ) 施策実施効果の検証

<p>主な質問・指摘事項</p>	<p>回答・対応方針</p>
<p>・ “ 刈谷駅周辺に活気や魅力があると感じる住民の割合 ” を期待される効果の指標として設定しているが、交通環境の利便性向上以外の要因も関連する指標であるため、表現を変えた方がいいのではないか。また、H42 年の目標値 70% は実現可能な数値なのか。</p>	<p>・ 本指標は、総合計画の “ 活力・魅力プロジェクトに対する目標指標 ” のなかで設定されている指標です。まちづくりを交通面から支援するという視点から、本計画においても本指標を採用しています。総合計画では、H32 の目標値を 65% と設定しているため、H42 年は更に向上するという想定から 70% に設定しています。</p>
<p>・ 公共交通の充実による期待される効果は満足度のみとなっているが、客観的な指標も加えてほしい。</p>	<p>・ 本計画において幹線路線として位置付けている “ 市内南北軸の利用者数 ” を新たな指標として追加します。( 資料 1 P1, 10, 16 )</p>